

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年11月13日

【四半期会計期間】 第54期第3四半期(自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 市川 尚

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 市川 尚

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店
(大阪府大阪市北区中之島3丁目2番18号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第3四半期 連結累計期間	第54期 第3四半期 連結累計期間	第53期
会計期間	自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日	自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日
売上高 (千円)	4,955,090	4,860,311	7,763,399
経常利益 (千円)	710,094	642,410	1,259,154
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	462,553	397,078	771,076
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	465,549	396,314	782,724
純資産額 (千円)	7,116,473	7,655,217	7,433,648
総資産額 (千円)	11,985,753	12,911,529	11,790,948
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	52.95	45.46	88.27
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	59.4	59.3	63.0

回次	第53期 第3四半期 連結会計期間	第54期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額 (円)	10.71	2.94

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、連結子会社である株式会社スパジオは、平成30年6月29日をもって解散し、平成30年10月15日に清算終了いたしました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における日本の経済は、企業収益が好調に推移し、雇用・所得環境も良好な状況が続くなど景気は緩やかな回復基調が持続しておりますが、海外においては、米国利上げや米中貿易摩擦問題等、今後わが国経済に悪影響を及ぼしかねない要因も多く、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社の属する建設業界はオリンピック前の凧のように仕事が少ない時期を経て、建設ラッシュがピークを迎え、大変な活況を呈しています。仕事が潤沢にある一方で、人手不足、輸送費の上昇、資材の納入遅れなど、さまざまな課題が噴出しています。

PCカーテンウォール業界も、業界各社が力を合わせてもさばききれないほどの需要が発生しております。

当社のPCカーテンウォール事業は、仕事をお断りせざるをえないほどの恵まれた受注環境な一方、技術的に、規模的に当社しかできない案件は、生産力の限界を超えて受注せざるをえない状況です。そのため、通常よりも割高な労働力や、資材、外注工場を活用せざるをえず、様々なコストが上昇し、工場稼働率向上に伴う利益上昇を減殺する要因となっています。こうした高水準の生産量の中で、品質と納期を守りながら安全に生産・出荷・取付し、てゆくことが今後の課題です。

プールを手掛けるアクア事業では、主力である学校やスポーツクラブのプール以外のリニューアル工事業の拡大を図っております。

当社企業グループの業績は売上高は48億60百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益5億74百万円（前年同四半期比7.9%減）、経常利益6億42百万円（前年同四半期比9.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億97百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。

なお、受注高は92億25百万円（前年同四半期比37.4%増）、受注残高は191億62百万円（前連結会計年度末比29.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

PCカーテンウォール事業

当第3四半期連結累計期間においては、当セグメントの売上高は47億37百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

当第3四半期連結会計期間はセグメント売上が9億27百万円に留まった（第1、第2四半期連結会計期間平均の半分以下）ことと、工場低稼働の期間があった影響で利益率がやや低下したこともあり、当第3四半期連結会計期間単独では22百万円のセグメント損失となりました。

したがって、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は6億21百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

なお、売上のトレンドに季節性はありません。当社は、当社製造の外壁パネルが建物に取り付け終わった段階で売上計上しますが、外壁パネルを取り付ける計画は、建設現場の計画の変更に応じて日々変化しています。昨今は、建設ラッシュの影響で鉄骨をはじめ、さまざまな部材の供給遅れにより、建設現場の工期が遅れてきており、それにつれて当社の外壁パネルの取付、および売上計上も先送りになる傾向が強まっています。

アクア事業

当第3四半期連結累計期間においては、学校関連及びフィットネスクラブのプールの新設・改修の受注は予定を下回りました。

当セグメントの売上高は86百万円（前年同四半期比70.6%減）、セグメント損失は32百万円（前年同四半期は11百万円のセグメント利益）となりました。

その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

当セグメントの売上高は35百万円（前年同四半期比34.4%減）、セグメント損失は20百万円（前年同四半期は17百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は129億11百万円と前連結会計年度末と比較して11億20百万円の増加となりました。これは主に未成工事支出金が22億52百万円増加したことと、現金預金が5億33百万円及び電子記録債権が7億7百万円減少したことによるものであります。

負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は52億56百万円と前連結会計年度末と比較して8億99百万円の増加となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が4億25百万円、未成工事受入金が2億4百万円及び未払法人税等が2億2百万円増加したことによるものであります。

純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は76億55百万円と前連結会計年度末と比較して2億21百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により3億97百万円増加したことと、配当金の支払いにより1億74百万円減少したことにより2億22百万円増加したことによるものであります。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

特記事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成30年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,553,011	9,553,011		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年9月30日		9,553,011		100,000		

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成30年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 817,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,731,500	87,315	
単元未満株式	普通株式 3,711		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		87,315	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式14株が含まれております。

【自己株式等】

平成30年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 本町1丁目5番4号	817,800		817,800	8.56
計		817,800		817,800	8.56

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
専務取締役 (生産本部長兼工務部長 兼スバジオ事業部長)	専務取締役 (生産本部長兼工務部長)	手塚 武	平成30年6月1日

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成30年7月1日から平成30年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日から平成30年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,198,859	665,281
受取手形・完成工事未収入金等	923,444	500,174
電子記録債権	1,846,180	1,138,552
未成工事支出金	2,900,530	5,152,927
その他のたな卸資産	70,166	90,482
その他	89,585	316,314
流動資産合計	7,028,767	7,863,732
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	456,551	584,898
土地	1,846,191	1,846,191
その他(純額)	444,895	564,019
有形固定資産合計	2,747,638	2,995,109
無形固定資産		
	42,217	38,778
投資その他の資産		
投資有価証券	225,592	223,093
保険積立金	856,713	902,475
投資不動産(純額)	125,262	124,644
退職給付に係る資産	112,780	111,334
その他	668,544	668,928
貸倒引当金	16,567	16,567
投資その他の資産合計	1,972,325	2,013,908
固定資産合計	4,762,181	5,047,797
資産合計	11,790,948	12,911,529
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	631,255	1,056,384
短期借入金	564,000	637,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	58,359	260,789
未成工事受入金	1,329,390	1,533,503
引当金	71,918	147,990
その他	312,869	247,502
流動負債合計	3,067,793	3,983,170
固定負債		
社債	160,000	60,000
長期借入金	531,000	620,000
役員退職慰労引当金	437,952	454,498
その他	160,554	138,643
固定負債合計	1,289,506	1,273,141
負債合計	4,357,299	5,256,312

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	4,238,980	4,461,354
自己株式	238,389	238,430
株主資本合計	7,383,953	7,606,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,694	48,930
その他の包括利益累計額合計	49,694	48,930
純資産合計	7,433,648	7,655,217
負債純資産合計	11,790,948	12,911,529

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
完成工事高	4,955,090	4,860,311
完成工事原価	3,801,188	3,756,925
完成工事総利益	1,153,902	1,103,385
販売費及び一般管理費	530,906	529,334
営業利益	622,995	574,051
営業外収益		
受取利息	387	334
受取配当金	1,241	1,704
投資有価証券売却益	7,102	-
投資不動産賃貸料	6,114	5,881
受取家賃	8,838	10,447
鉄屑売却収入	18,084	29,952
テナント退店違約金受入益	55,400	19,576
その他	10,756	13,639
営業外収益合計	107,925	81,536
営業外費用		
支払利息	14,012	8,845
不動産賃貸費用	2,614	2,392
その他	4,199	1,938
営業外費用合計	20,826	13,176
経常利益	710,094	642,410
特別利益		
固定資産売却益	-	1,149
特別利益合計	-	1,149
特別損失		
固定資産売却損	9,923	-
固定資産除却損	3,431	3,161
特別損失合計	13,354	3,161
税金等調整前四半期純利益	696,739	640,399
法人税、住民税及び事業税	5,833	288,841
法人税等調整額	228,353	45,520
法人税等合計	234,186	243,321
四半期純利益	462,553	397,078
親会社株主に帰属する四半期純利益	462,553	397,078

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	462,553	397,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,996	764
その他の包括利益合計	2,996	764
四半期包括利益	465,549	396,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	465,549	396,314

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
減価償却費	138,518千円	147,442千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月30日 定時株主総会	普通株式	87,352	10.00	平成28年12月31日	平成29年3月31日	利益剰余金
平成29年7月28日 取締役会	普通株式	87,352	10.00	平成29年6月30日	平成29年9月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年3月29日 定時株主総会	普通株式	87,352	10.00	平成29年12月31日	平成30年3月30日	利益剰余金
平成30年7月27日 取締役会	普通株式	87,351	10.00	平成30年6月30日	平成30年9月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,604,656	295,992	4,900,649	54,441	4,955,090		4,955,090
セグメント間の内部売上高又は振替高							
計	4,604,656	295,992	4,900,649	54,441	4,955,090		4,955,090
セグメント利益又はセグメント損失()	622,783	11,331	634,115	17,419	616,695	6,300	622,995

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額6,300千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,737,599	86,999	4,824,598	35,712	4,860,311		4,860,311
セグメント間の内部売上高又は振替高				1,000	1,000	1,000	
計	4,737,599	86,999	4,824,598	36,712	4,861,311	1,000	4,860,311
セグメント利益又はセグメント損失()	621,568	32,226	589,341	20,990	568,351	5,700	574,051

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額5,700千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	52円95銭	45円46銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	462,553	397,078
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	462,553	397,078
普通株式の期中平均株式数(株)	8,735,248	8,735,205

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第54期(平成30年1月1日から平成30年12月31日まで)中間配当について、平成30年7月27日開催の取締役会において、平成30年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	87,351千円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成30年9月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年11月12日

高橋カーテンウォール工業株式会社
取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員 業務執行社員	公認会計士	齋藤	勉	印
社員 業務執行社員	公認会計士	山田	英二	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の平成30年1月1日から平成30年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成30年7月1日から平成30年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日から平成30年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の平成30年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。